

ステップアップ!!

〈大学受験編〉



「東進タイムズ4月号」。CG高等館東進衛星予備校各校で無料配布。

新学年がスタートしてお題された問題やその傾向をよそ1カ月がたち、高校3年生にとってはあと8カ月余りで大学受験を迎える時期となりました。計画通りに勉強の成果を積み上げている方もいれば、焦りや不安で日々を過ごしている方もいるかと思いますが、皆さんは今、受験勉強をする上で何を重視して取り組まれていますか？

■出題傾向をつかむ

受験勉強をする上で最も欠かせないことは「過去問演習」です。第一志望校の出題傾向をつかんだり試験時間に慣れたりするためには、これまでに出版された実際の入試問題を解くことが最も近道だからです。

■今は「基礎」の徹底

過去問10年分を3回繰り返すことを徹底してやるためには、ある程度の期間が必要になります。早ければ夏休み、遅くとも9月に入ってから過去問演習に取り組みましょう。

ポイントは、多くの問題を量を繰り返し解くことと出題まで4カ月間

Q. 今、やるべきことは？

今週のポイント

- 過去問は多くの問題量を繰り返し解く。
- 出題された問題や傾向を「徹底的」に理解する。
- 過去10年間の過去問を3回は解き直す。
- 「基礎力の徹底」こそが合格に向けた近道

いったい何をやるべきなのか。それは「基礎」の徹底です。受験勉強に過去問演習は欠かせませんが、基礎が身につけていないければいくつ過去問を解いても効果がありません。

英語ならば英単語・英熟語・英文法を徹底的に身につけて土台を築き、その上に長文読解を積み上げていく必要があります。数学ならばまずは教科書に書かれている内容を完璧に理解しておきましょう。数学IIIは早期に一通りの学習を終えて、IA・II B・III Cの融合問題に対応できる「基礎力」を夏までに身につけておきましょう。理科や地歴は必ず一通りの学習を終わらせておきましょう。

■焦らず基礎固めを

受験期が近くなると「今からもうと難し」と思ってしまうと問に合わないのでは「と焦ってしまう方も多いのですが、「基礎力の徹底」こそが第一志望合格に向けた一番の近道なのです。今の自分の学習内容を振り返ってみてください。焦りや不安が先行してしまいうまく前に進めない方は、必ず基礎学習から始めてみましょう。

暗記する量が多い理科や地歴は、早く段階で一通り復習(CG高等館東進衛星予備校)